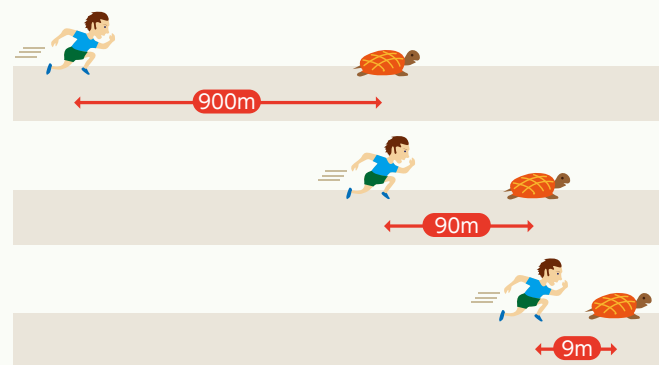


古代ギリシャの哲学者ゼノンが「アキレスと亀」というパラドックスを残しています。ギリシャ神話に登場する俊足のアキレスが900m先にいる亀と徒競走します。時間や距離の制限ではなく、亀を追い抜きさえすればアキレスの勝ちです。アキレスは亀の10倍速く走ることができるでしょう。自信満々のアキレスですが、不思議なことに亀に追いつけません。アキレスが900m先の亀のいるところにたどり着くと、亀はゆっくりですが90m先に進んでいます。アキレスが90m先の亀のいたところに着くと亀は9m先にいます。アキレスが9m先の亀の位置にたどり着いたときには、亀は0.9m前に進んでいます。この繰り返しで、アキレスは亀のもといたところまで行くことはで

アキレスは亀に追いつけない?!



きても、亀に追いつくことはできないのです。

しかし、よく考えると最初に亀がいた場所から99.99999999...m先でアキレスは亀に追いつくことができます。99.99999999...mは100mでしょうか? 続きは次号「ふれあい249号」をお楽しみに。

歳時記 八十八夜

日本の童謡に「夏も近づく八十八夜」と歌い出す「茶摘み」がありますが、この八十八夜というのは、立春から八十八日目、だいたい5月1～2日にあたる日をいいます。「八十八夜の別れ霜」といって、このころになると霜が降りなくなり、お茶の新芽を摘む「茶摘み」の最盛期になります。やわらかい新芽のお茶は「新茶」として売り出され、飲むと長生きする縁起物として喜ばれます。



集会施設休館日(4月・5月)

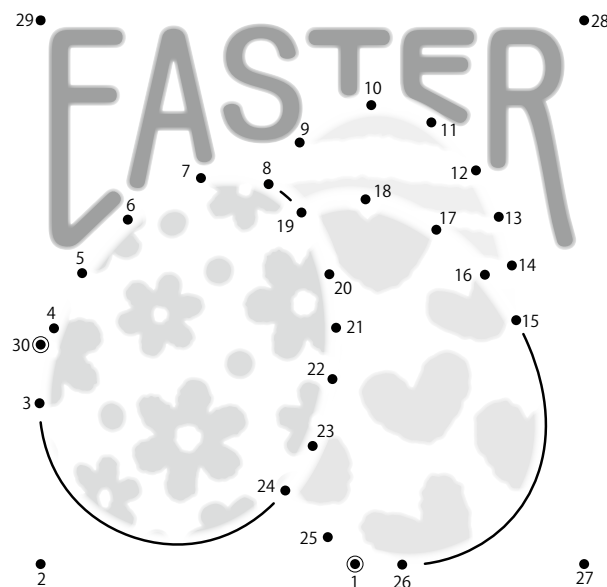
4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
—	—	—	—	—	—	1	—	1	2	3	4	5	6
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31	—	—	—
30	—	—	—	—	—	—	■:和田区民集会所 ■:高円寺北区民集会所						

子ども大人も楽しめる脳トレ 点むすびパズル

花(はな)やハートの絵(え)が見(み)えるね。1から順(じゅん)に線(せん)でつないでいくと、何(なに)が出てくるかな?

★ヒント:西洋(せいよう)のイースター=復活祭(ふっかつさい)という行事(ぎょうじ)で、さまざまに彩(いろど)られて飾(かざ)られる、あるものだよ。

★こたえは3ページです。



ふれあい



<https://www.koenji-kyogikai.org>

高円寺地域区民センター協議会

検索

わい! わだまつり



4月23日(日) 午前10時30分～午後2時30分(雨天決行)

会場:和田小学校 体育館・校庭/和田障害者交流館



【来場時のお願い】

- *マイバッグをご持参ください。*ゴミのお持ち帰りにご協力ください。
- *お車や自転車でのご来場はできるだけ遠慮ください。
- *ペットを連れてのご来場はご遠慮ください。
- *天候、コロナ感染状況によりプログラムが変更になる場合があります。

主催:杉並区障害者団体連合会/高円寺地域区民センター協議会 協力:杉並区立和田小学校

開催
報告

地域懇談会2023

●2月12日(日) ●午前10時～11時30分
会場:高円寺北区民集会所(2階洋室1・2)

地域懇談会は、町会、自治会をはじめ地域で活動する人たちに集まっていただき、一つのテーマについて専門家による説明を受けたのちグループでの意見交換を行うものです。例年は多くの参加者で活発な話し合いが行われますが、コロナ禍の影響により、昨年はやむなく中止となりました。ご講演いただく予定だった大蔵由美先生には、広報紙ふれあいに寄稿いただきましたが、今年は「人生100年時代の楽しみ方 ～地域でできること～」というお話で大蔵先生にご登壇いただくことができませんでした。

長寿社会を生きる上で大切なことは、健康寿命をより長く保つこと。運動や人との交流が筋力や認知機能の衰えを防ぐことから、高齢者の健康長寿をサポートする活動や提案をご紹介いただきました。地域の高齢者の健康を地域で支えるために、どのような活動ができるかなどの課題を考える機会となりました。講演の後に、10分程

度でしたが隣り合った参加者どうして話し合い、それを発表しながら先生と意見交換することができ、和気あいあいとした雰囲気うちに会が終了しました。

セッションが改装中で使用できないため会場のスペースが限られ、各団体からの参加を1名に限るという形になりましたが、有意義な会であったことをご報告いたします。



大蔵 由美

健康管理士・空間デザイン心理士®プロ。2013年より健康セミナーなどを企画運営。2014年より区内で「まちの健康Club」主宰。毎週月曜日に「60代からの脳とカラダのメンテナンス」という脳トレと体幹トレーニングを中心とした運動教室を開催中。60代から90代の高齢者の元気に貢献している。

開催
報告

第13回 高円寺演芸まつり 「きたきた寄席」

●2月18日(土)高円寺北区民集会所

今年の「きたきた寄席」は、女性真打の柳亭こみち師匠に江戸小噺、現代落語と古典落語をご披露いただきました。観客ひとりひとりへ目配りのきいた話しぶりに、会場は笑い拍手に包まれました。「かっぱれ」を踊ってくださるサプライズにも観客は大喜び。聞けば長く踊りの稽古をされているそう。落語の後のトークタイムでは、落語界の話やご家庭の話など、観客の興味にお答えくださり、落語で笑い、トークで笑ったひと時でした。

講座
報告

「高円寺の記憶 街の成り立ちとサブカルチャー」

2月2日(木)高円寺北区民集会所

高円寺はなぜ「サブカルチャーの街」といわれるのか。杉並区立郷土博物館学芸員の馬場悦子先生から高円寺の歴史について聞きました。鉄道が通り人口が増え、駅前に商店街ができる。災害や戦争や経済の好不況などの変化を経て、いろいろな条件が絡み合い「ミュージシャンの街」「古着屋の街」となった経緯はとても興味深いものでした。



地域を 歩く 高円寺南1丁目庚申塔

高円寺南1丁目、高円寺陸橋近くの環状七号線のかたわらに、赤い鳥居と5基の石塔があります。これらの石塔は、正徳3年(1713年)と元禄7年(1694年)の庚申塔、寛文10年(1670年)と享保6年(1721年)の阿弥陀塔、享保13年(1728年)の供養塔です。

庚申信仰は、60日に一度回ってくる庚申の日には眠らずに過ごさねばならないという中国の道教の説が日本に伝わり、仏教や神道と習合して民間信仰になったもの。日本でも「庚申待ち」「庚申講」といって、地域の人々が集まって飲食を共にしながら夜通し語り合う風習が知られます。江戸時代には腕6本の青面金剛を本尊として、三猿(見ざる聞かざる言わざる)などを配した塔が盛んに作られるようになりました。

ここに建立された庚申塔は、武州高円寺村といわれた頃、村人たちによって悪病退散・村内安全などを祈願して建立されたものと思われ、建立当時は南向きだったのを、昭和42年に有志の人々が交通安全を祈願して、環状七号線に向けて改修しました。環七の方を向いているのが「青面金剛と三猿」が彫られた庚申塔で、その右わきに並ぶのが「阿弥陀如来」が彫られた阿弥陀塔です。コロナ禍にあって青面金剛もマスクをつけて、人々に感染予防を訴えかけているようですね。



庚申塔



阿弥陀塔

高円寺地域区民センター協議会 定期総会開催のお知らせ

令和5年度定期総会を開催します。地域の皆様のご参加をお願いいたします。

【日 時】5月16日(火) 午前10時～11時30分

【場 所】阿佐谷地域区民センター 2階 第1・2・3集会室 住所:杉並区阿佐谷北1-1-1

【議 題】●令和4年度事業報告 ●令和4年度収支決算報告 ●令和4年度会計監査報告

●令和5年度事業計画(案) ●令和5年度収支予算(案)

高円寺地域区民センター協議会 会長 三木 正晴

★こたえは「たまご」でした。「イースター・エッグ」といって、最近(さいきん)はチョコレートで作(つく)られたりしているよ。